

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道2号 小月バイパス <small>おづき</small>		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：山口県下 関市松屋 <small>やまぐち しものせき まつや</small> 至：山口県下 関市亀浜町 <small>やまぐち しものせき かめはまちょう</small>			延長	5.8 km	
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪市を起点とし、瀬戸内海沿岸の諸都市を連絡し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。</p> <p>小月バイパスは、山口県下 関市東部における交通混雑の緩和、交通安全の確保などを目的とした延長5.8kmの道路整備事業である。</p>					
H20年事業化	S48年度都市計画決定 (H14年度変更)		—		H20年度工事着手	
全体事業費	約111億円		事業進捗率	約66%	供用済延長	2.4 km
計画交通量	41,600~52,900 台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.9 (残事業) 7.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 29/134億円 〔事業費：16/114億円〕 〔維持管理費：12/20億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 212/390億円 〔走行時間短縮便益：192/349億円〕 〔走行費用減少便益：10/22億円〕 〔交通事故減少便益：10/19億円〕	基準年 平成27年		
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.9~3.6 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.7~9.4 (交通量±10%) 事業費：B/C=2.9~2.9 (事業費±10%) 事業費：B/C=7.1~7.9 (事業費±10%) 事業期間：B/C=2.8~3.0 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=7.3~7.6 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保 ・損失時間の削減が見込まれる</p> <p>②国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる【下関市王喜地区~下関市役所】</p> <p>③個性ある地域の形成 ・大規模イベントの支援として、ねんりんピック (H27.10) の競技会場である乃木浜総合公園へのアクセス向上 ・長府庭園 (H25年間観光入込客数7.0万人)、山陽小野田市内の観光農園 (H25年間観光入込客数20.0万人) など観光施設へのアクセス向上</p> <p>④災害への備え ・山口県緊急輸送道路ネットワーク計画 (平成27年10月) において緊急輸送道路に位置づけ有り ・緊急輸送道路である中国自動車道の代替路線を形成する</p> <p>⑤地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>山口県知事の意見：異存なし。 引き続き、早期完成に向けて、コスト縮減等を配慮の上、事業の促進に努めていただきたい。</p>					

事業評価監視委員会の意見

事業者から各事業の概要、評価結果及び対応方針（原案）について説明を受け、事業が適切に実施されているか審議を行い、次のとおり意見の取りまとめを行った。

審議の結果、再評価対象の事業は適切に実施されており、事業継続とすることとした事業者の判断は、妥当であると意見集約した。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

下関都市圏における国道2号は、沿道地域の開発に伴う交通量の増加により、著しい渋滞や交通事故が発生、中国自動車道の通行止め時の東西移動を支える道路として、4車線化並びにバイパス整備を計画的に実施してきている。

これまでの開通により、^{きよすえひがし}清末東交差点の渋滞は解消したものの、4車線から2車線への絞り込み区間などで死傷事故が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・平成27年3月末で用地買収は約100%完了している。
- ・平成27年3月末で事業進捗は約66%完了している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成28年度：全線4車線開通予定

施設の構造や工法の変更等

今後の実施にあたっては、コスト削減を図りつつ事業を推進していく。

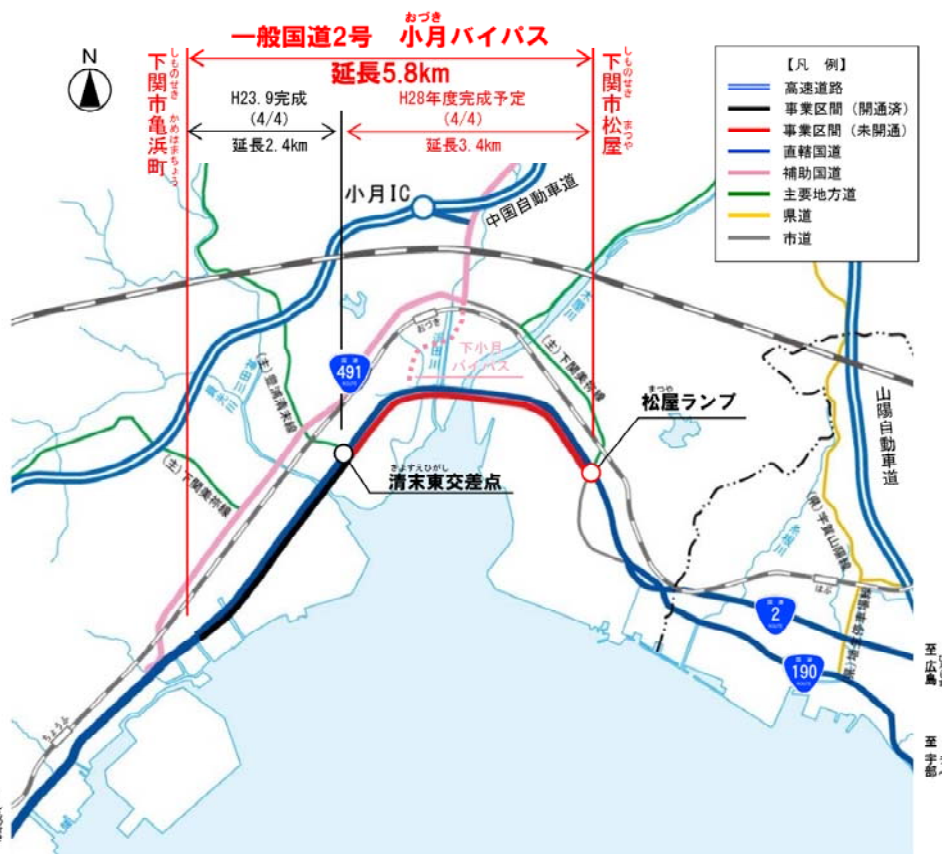
対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。